



未来志創

よっしゃ！顔晴ろう！



大きな樹を観て何を感じるか？

屋久杉を代表する最大級の巨木「**縄文杉**」です。この縄文杉は合体木ではなく、**一本の杉**だそうです。世界最古の植物とも言われるみたいです。

さて、この大きな樹を観て、皆さんは何を感じますか？

私はこれを観て最初に感じたのが「どうしてこんなに大きくなったのだろう？」でした。いろいろな感じ方があると思いますが、こんなことを感じた人はいますか？

「なぜこの大きな樹が立っているのだろう」

「いったいどれくらいの根がこの樹を支えているのだろう」

当然、樹が立っているのは「根」が支えているからです。その樹が大いほど、根が丈夫であるということです。こんなことを教わりました。「**良樹細根**」という考え方です。



- ・ **良い樹は必ず細かい根が地中に深く広く張っている。**
- ・ 根が丈夫な限り、樹は自然に伸びていくものである。世間では**地中の根をほったらかしにして**おいて、この地上の樹のことばかりやろうとしている人が多いようです。
- ・ **根が育たないのに、樹が大きくなることはない。**
- ・ 地中のことは、いくらやっても「人から認められない」「褒められない」「評価されない」ため、**つい疎かにして**樹を伸ばそうとして、**できないことをやっている。**
- ・ **良樹細根**を目指すために「**根っこの部分**」を**挨拶・掃除**という単純で単調な作業を根気よくやり続けることが大切です。

何か目標に向かって取り組むときに大切なことは**目的**だと思います。目的とは「**何のためにやるのか**」ということです。この**目的**が「**根っこの部分**」なのです。「手を止めて」「顔を上げて」「目を合わせて」人の話を聞くのは「**何のため**」でしょうか。朝読書をするのは「**何のため**」でしょうか。そこには必ず、**自分磨きに繋がる「何か**」がありますよ。そして、その「何か」は自分を**常に支えて**くれますよ。